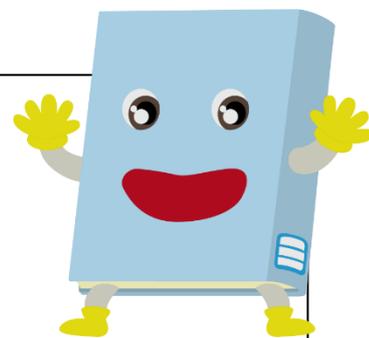


4月

# 今日の一言

7.4.24 校長 渕上 卓也



## 本は友だち



4月23日は「子ども読書の日」で、その日をスタートとして、5月14日までを「こども読書週間」と言います。子どもの読書活動についての関心や理解を深めることを目的として、毎年設定されています。

大園小学校の子どもたちは、読書が大好きで、図書室が利用できるときには、たくさん子どもたちが来室し、いろいろな本を借りています。読書は、頭と心にエネルギーを与えてくれますからね。そんな姿が、うれしいです。

今年度、渕上が進めたいのが、家庭読書への取組です。お家でも読書に取り組んでいる大園っ子、親子で読書タイムを設けている御家庭、小さい時から欠かさず毎日読み聞かせを続けている保護者の皆様など、いらっしゃることでしょう。大園っ子みんなが、手にするものが、ゲーム機やスマホから少しでも本に変わってくれたら・・・と思っています。「本は友だち!!」本はいつも側にいて、大園っ子のことを支え、育ててくれる存在です。

校長室にも「校長室文庫」があります。前にもお伝えしたと思いますが、私は絵本が大好きです。読み聞かせにも使います。ちょっと気分が落ち込んで校長室でリフレッシュする子どもたちは、よく「校長室文庫」の絵本を手にとって読み、元気になって教室へ帰っていきます。時には、来室された保護者の方が読まれることもありますね。いつでもどうぞ!!

ちなみに、子どもたちの一番人気は、「ふまんがおります」(ヨシタケシンスケ作 PHP出版)です。「どうして子どもはダメなのに、大人は許されるのか・・・」小さい女の子が、お父さんにいろいろと質問をするお話です。最後はウルツと来るんですよね。自分の思いと登場人物の思いが重なるのでしょうか。人気がある理由が分かる気がします。私もお薦めの一冊です。

<今日の一句>

絵本読み

子どもの心に

近付ける 卓也

